

## 配置予定技術者調書

共同企業体名

資格区分		監理技術者(代表者)		
配置予定技術者名 (生年月日)				
上記技術者の営業所の 専任技術者との関係		<input type="checkbox"/> 営業所の専任技術者に該当しない。 ※ 営業所の専任技術者であるかどうかを確認し、□に✓をすること。 なお、営業所の専任技術者を配置予定技術者として申請しようとする ときは、注5を参照し、申請可能かどうか十分確認すること。		
所属会社名				
法令による免許 国家資格 (取得年月日) (登録番号等)				
工 事 実 績	工事名			
	発注機関名			
	施工場所			
	契約金額			
	工期			
	従事役職			
工事内容				
同一技術者を配置予定技 術者として届け出たその 他の入札案件		発注機関名	工事名(工事番号)	開札日時
				月 日 :
				月 日 :
現 在 い 従 る 事 工 し 事	工事名			
	発注機関名			
	施工場所			
	工期			
	従事役職 (専任・非専任の別)			

- (注)1 配置予定技術者調書は、監理技術者用及び主任技術者用をそれぞれ提出すること。
- 2 監理技術者は、入札案件1件につき3名まで申請が可能である。  
配置予定技術者調書は、申請する監理技術者の人数分提出すること。
- 3 公告で定められた期限までに、事後審査型制限付一般競争入札参加資格確認申請書とともに、記載事項を証明する書類等(次の①～④など)を提出すること。
- ① 「法令による免許・国家資格」の写し
  - ② 入札参加資格確認申請日以前に3月以上の雇用があることを証明する書類の写し(健康保険証の写しを提出する場合は、被保険者の記号・番号及び保険者番号をマスキング(黒塗り)すること。)
  - ③ 監理技術者資格者証の写し及び監理技術者講習修了証の写し
  - ④ 工事实績を証明できる書類(CORINSの写し等)(公告において配置予定技術者の工事实績が入札参加資格とされている場合のみ提出すること。)
- 4 この調書に記載した配置予定技術者を他の入札案件に配置予定技術者として申請している場合、「同一技術者を配置予定技術者として届け出たその他の入札案件」欄に、その入札案件を記載すること。(記入欄が不足する場合は、適宜、行を挿入すること。)
- 5 営業所の専任技術者は、本件工事が非専任工事であり、かつ、当該営業所と本件工事の工事場所が岡山県備前県民局管内にある場合に限り、配置予定技術者とすることができる。
- 6 1～5に示すほか、事後審査型制限付一般競争入札公告共通事項(建設工事)の「19 配置予定技術者について」に十分留意すること。

## 配置予定技術者調書

共同企業体名	
--------	--

資格区分	主任技術者(構成員)		
配置予定技術者名 (生年月日)			
上記技術者の営業所の 専任技術者との関係	<input type="checkbox"/> 営業所の専任技術者に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 営業所の専任技術者であるかどうかを確認し、□に✓をすること。 ※ 営業所の専任技術者を配置予定技術者として申請しようとする ときは、注5を参照し、申請可能かどうか十分確認すること。		
所属会社名			
法令による免許 国家資格 (取得年月日) (登録番号等)			
工 事 実 績	工事名		
	発注機関名		
	施工場所		
	契約金額		
	工期		
	従事役職		
工事内容			
同一技術者を配置予定技 術者として届け出たその 他の入札案件	発注機関名	工事名(工事番号)	開札日時
			月 日 :
			月 日 :
現 在 従 事 工 事	工事名		
	発注機関名		
	施工場所		
	工期		
	従事役職 (専任・非専任の別)		

- (注)1 配置予定技術者調書は、監理技術者用及び主任技術者用をそれぞれ提出すること。
- 2 主任技術者は、入札案件1件につき3名まで申請が可能である。  
配置予定技術者調書は、申請する主任技術者の人数分提出すること。
- 3 公告で定められた期限までに、事後審査型制限付一般競争入札参加資格確認申請書とともに、記載事項を証明する書類等(次の①～③など)を提出すること。
- ① 「法令による免許・国家資格」の写し
- ② 入札参加資格確認申請日以前に3月以上の雇用があることを証明する書類の写し(健康保険証の写しを提出する場合は、被保険者の記号・番号及び保険者番号をマスキング(黒塗り)すること。)
- ③ 工事实績を証明できる書類(CORINSの写し等)(公告において配置予定技術者の工事实績が入札参加資格とされている場合のみ提出すること。)
- 4 この調書に記載した配置予定技術者を他の入札案件に配置予定技術者として申請している場合、「同一技術者を配置予定技術者として届け出たその他の入札案件」欄に、その入札案件を記載すること。(記入欄が不足する場合は、適宜、行を挿入すること。)
- 5 営業所の専任技術者は、本件工事が非専任工事であり、かつ、当該営業所と本件工事の工事場所が岡山県備前県民局管内にある場合に限り、配置予定技術者とする事ができる。
- 6 1～5に示すほか、事後審査型制限付一般競争入札公告共通事項(建設工事)の「19 配置予定技術者について」に十分留意すること。

記入例

配置予定技術者調書

共同企業体名	〇〇建設(株)・△△建設(株)建設工事共同企業体
--------	--------------------------

資格区分	監理技術者(代表者)		
配置予定技術者名 (生年月日)	〇〇 〇〇 (昭和〇年〇月〇日)		
上記技術者の営業所の 専任技術者との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 営業所の専任技術者に該当しない。 ※ 営業所の専任技術者であるかどうかを確認し、□に✓をすること。 なお、営業所の専任技術者を配置予定技術者として申請しようとするときは、注5を参照し、申請可能かどうか十分確認すること。		
所属会社名	(株)〇〇〇〇		
法令による免許 国家資格 (取得年月日) (登録番号等)	1級土木施工管理技士 (昭和〇年〇月〇日) 第〇〇〇〇〇〇〇〇号	・技術者の資格要件を実務経験によ っている場合は、資格の名称を「(実務経 験)」と記載し、取得年月日と登録番号 等は空欄にしてください。	
工 事 実 績	工事名	〇〇工事	・工事实績の欄は、入札参加資格にお いて配置予定技術者の同種工事の施 工実績を条件としている場合のみ記載 してください。
	発注機関名	〇〇市	
	施工場所	岡山県〇〇市〇〇地内	
	契約金額	〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円	
	工期	平成〇年〇月～平成〇年〇月	
	従事役職	監理技術者	
工事内容	〇〇工 L=〇, 〇〇〇m 〇〇工 V=〇〇〇m <sup>3</sup>		
同一技術者を配置予定技 術者として届け出たその 他の入札案件	発注機関名	岡山県備前県民局	開札日時
	工事名(工事番号)	〇〇工事(〇-〇)	〇月〇日10:00
			月 日 :
現 在 従 事 工 事	工事名	・複数の工事に従事しているときは、行 を増やしてそれぞれ記載してください。	
	発注機関名		
	施工場所		
	工期		
	従事役職 (専任・非専任の別)		

- (注)1 配置予定技術者調書は、監理技術者用及び主任技術者用をそれぞれ提出すること。
- 2 監理技術者は、入札案件1件につき3名まで申請が可能である。  
配置予定技術者調書は、申請する監理技術者の人数分提出すること。
- 3 公告で定められた期限までに、事後審査型制限付一般競争入札参加資格確認申請書とともに、記載事項を証明する書類等(次の①～④など)を提出すること。
- ① 「法令による免許・国家資格」の写し
  - ② 入札参加資格確認申請日以前に3月以上の雇用があることを証明する書類の写し(健康保険証の写しを提出する場合は、被保険者の記号・番号及び保険者番号をマスキング(黒塗り)すること。)
  - ③ 監理技術者資格者証の写し及び監理技術者講習修了証の写し
  - ④ 工事实績を証明できる書類(CORINSの写し等)(公告において配置予定技術者の工事实績が入札参加資格とされている場合のみ提出すること。)
- 4 この調書に記載した配置予定技術者を他の入札案件に配置予定技術者として申請している場合、「同一技術者を配置予定技術者として届け出たその他の入札案件」欄に、その入札案件を記載すること。(記入欄が不足する場合は、適宜、行を挿入すること。)
- 5 営業所の専任技術者は、本件工事が非専任工事であり、かつ、当該営業所と本件工事の工事場所が岡山県備前県民局管内にある場合に限り、配置予定技術者とすることができる。
- 6 1～5に示すほか、事後審査型制限付一般競争入札公告共通事項(建設工事)の「19 配置予定技術者について」に十分留意すること。

## 配置予定技術者調書

共同企業体名	〇〇建設(株)・△△建設(株)建設工事共同企業体
--------	--------------------------

資格区分	主任技術者(構成員)		
配置予定技術者名 (生年月日)	△△ △△ (昭和△年△月△日)		
上記技術者の営業所の 専任技術者との関係	<input checked="" type="checkbox"/> 営業所の専任技術者に該当しない。 <input type="checkbox"/> ※ 営業所の専任技術者であるかどうかを確認し、□に✓をすること。 なお、営業所の専任技術者を配置予定技術者として申請しようとするときは、注5を参照し、申請可能かどうか十分確認すること。		
所属会社名	△△建設(株)		
法令による免許 国家資格 (取得年月日) (登録番号等)	1級土木施工管理技士 (昭和△年△月△日) 第〇〇〇〇〇〇〇〇号		・技術者の資格要件を実務経験によ っている場合は、資格の名称を「(実務経 験)」と記載し、取得年月日と登録番号 等は空欄にしてください。
工 事 実 績	工事名	・工事实績の欄は、入札参加資格にお いて配置予定技術者の同種工事の施 工実績を条件としている場合のみ記載 してください。	
	発注機関名		
	施工場所		
	契約金額		
	工期		
	従事役職		
工事内容			
同一技術者を配置予定技 術者として届け出たその 他の入札案件	発注機関名	工事名(工事番号)	開札日時 月 日 : 月 日 :
現 在 従 事 工 事	工事名	・複数の工事に従事しているときは、行 を増やしてそれぞれ記載してください。	
	発注機関名		
	施工場所		
	工期		
	従事役職 (専任・非専任の別)		

- (注)1 配置予定技術者調書は、監理技術者用及び主任技術者用をそれぞれ提出すること。
- 2 主任技術者は、入札案件1件につき3名まで申請が可能である。  
配置予定技術者調書は、申請する主任技術者の人数分提出すること。
- 3 公告で定められた期限までに、事後審査型制限付一般競争入札参加資格確認申請書とともに、記載事項を証明する書類等(次の①～③など)を提出すること。
- ① 「法令による免許・国家資格」の写し
  - ② 入札参加資格確認申請日以前に3月以上の雇用があることを証明する書類の写し(健康保険証の写しを提出する場合は、被保険者の記号・番号及び保険者番号をマスキング(黒塗り)すること。)
  - ③ 工事实績を証明できる書類(CORINSの写し等)(公告において配置予定技術者の工事实績が入札参加資格とされている場合のみ提出すること。)
- 4 この調書に記載した配置予定技術者を他の入札案件に配置予定技術者として申請している場合、「同一技術者を配置予定技術者として届け出たその他の入札案件」欄に、その入札案件を記載すること。(記入欄が不足する場合は、適宜、行を挿入すること。)
- 5 営業所の専任技術者は、本件工事が非専任工事であり、かつ、当該営業所と本件工事の工事場所が岡山県備前県民局管内にある場合に限り、配置予定技術者とすることができる。
- 6 1～5に示すほか、事後審査型制限付一般競争入札公告共通事項(建設工事)の「19 配置予定技術者について」に十分留意すること。